

道視連新聞

一般社団法人
北海道視覚障害者福祉連合会

発行人：森 正裕

事務局

札幌市中央区北2条西7丁目
道民活動センタービル 4階
電話 (011) 271-0380
FAX (011) 281-1283
毎月 20日発行
定価1部 千円 100円

第53回全道視覚障害者福祉研修大会

及び福祉大会開催報告

福祉研修大会報告

道視連 副会長 加藤 弘

10月2日(日)道民活動センタービル(かでの2・7)4階大会議室において、第53回全道視覚障害者福祉研修大会が開催されました。先の台風による被害で交通機関の一部不通がある中、全道各地から会員約100名の参加を得て盛大に開催されました。

今年度の研修大会のテーマは、近年、盲導犬に対する関心度も高く、話題も多いことから、「盲導犬の実状と、これから」と題して、公益財団法人北海道盲導犬協会の指導部盲導犬歩行指導員の相馬邦啓氏から、盲導犬についての講演をいただきました。

北海道盲導犬協会の取り組みとして、盲導犬の育成、ロービジョンの方々へのサポート(歩行訓練や生活訓練)、盲導犬として仕事を終えた犬たちの老犬ホームの運営などのお話があり、我々にとって密接な関係であることを再認識いたしました。

北海道で活躍している盲導犬は50頭、全国では1000頭もの盲導犬が活躍していますが、盲導犬を持ちたいと希望する方が3000〜4000名もいるというのに驚き、盲導犬を希望する視覚障害者に対し盲導犬が少ないという実状を知りました。

盲導犬のこれからについては、ユーザーの高齢化への対策、盲導犬歩行の体験会や研修会の開催などを通して我々が積極的に理解することは勿論、さらに一般の方々の盲導犬への理解を深めていくことが重要であると再認識しました。

研修大会に参加した盲導犬ユーザーでもある会員からの体験談も聞くことができ、盲導犬を持つと思うたきっかけや暮らしの中での楽しさ、辛さ、厳しさなどを聞き、盲導犬への関心が更に強まりました。

盲導犬に関する様々な事例が多い昨今ですが、我々がしっかり盲導犬への理解を深め、社会へ向けて盲導犬の啓発・啓蒙を行っていく必要性を強く感じた研修大会でした。

福祉大会報告

道視連 副会長 島 信一朗

福祉大会は、午前に行われた福祉研修大会に引き続き昼食休憩をはさみ、同じ会場で午後から開催されました。本大会の名称は、これまで「福祉代表者大会」としておりましたが、今年度から「代表者」の表記をなくし、どなたでも参加できるものとなりました。その甲斐あってか今年は例年にも増して大変多くの皆様にご参加いただき、積極的な意見が数多く出され、有意義な大会となりました。事前に提出された議題は次の3件



盲人の国際的シンボルマーク
このマークは盲人の国際的組織であるWorld Blind Union(世界盲人連合)の総会で採択されたものです。

で、いずれも会場から活発な意見・質問が出され、3件全て満場一致で採択されました。今後は道視連として、この3件の議題を関係各方面へ働きかけていくと共に、来年度の活動方針の軸として、役員会においてより有効的な展開を検討していくこととなります。

3件の提出議題は次の通りです。
1. シグナルエイドが利用できるバスの開発と設置を要望いたします。
(旭川盲人福祉協会)
理由…シグナルエイドが利用できるバス停などの普及開発や、その他の

視覚に障がいのある音楽愛好家で結成されたバンド、ブルーファミリアは今年で結成40周年を迎えました。今年度は40周年記念として、10月9日(日)に千歳市民文化センター大ホールで、日本と台湾をつなぐ日台交流さわやかチャリティーコンサートを開催いたしました。

今年度は台湾から視覚に障がいを持つプロのアーティストをゲストに迎え、ブルーファミリアとの共演で素晴らしい歌や演奏を披露していただきました。司会は今年もSTVラジオ・パーソナリティの喜瀬ひろしさんと、軽快なトークとユーモアを交えながら会場を楽しませていただきました。第1部はブルーファミリアのオリ

2016 日台交流さわやかチャリティーコンサートを終えて

千歳視覚障害者福祉協会 会長 菊池 悦子

ジナル曲でスタートし、テレビドラマの主題歌や懐かしの映画音楽など11曲を演奏しました。みんなの広場のコーナーでは千歳市長の挨拶のあと、市長にもマイクを持っていただき会場のお客様と一緒に「ふるさと」を合唱しました。会場全体がひとつになり優しい歌声が響きわたりました。

第2部は日台ジョイントコンサートで、台湾のボーカリスト朱萬花さんの素晴らしい歌声や、黄東裕さんのバイオリン演奏、張哲瑞さんはご自分の名前がそのまま曲名になったオリジナルの歌などを披露してください。最後は張麗誠さんが「北国の春」と「乾杯」をきれいな日本語と台湾語で歌い上げ会場全体が感動に包まれたまま幕が下りました。

設置場所についても視覚障害者が容易に確認できるよう研究開発を強く要望いたします。

2. 高齢者・視覚障害者用LED付音響装置の普及について
(千歳視覚障害者福祉協会)
理由…視覚障害者にとって歩行者用信号機は対面の高い位置にあるため、中でも弱視者には確認が困難です。高齢者・視覚障害者用LED付音響装置は横断歩道の手前で確認することができただけでなく、地上から高さ1.2メートルの位置にあり、視覚障害者のみならず子どもや高齢者にとっても安心・安全に利用できるものです。北海道内に、高齢者・視覚障害者用LED付音響装置の普及を強く要望いたします。

3. 社会参加促進について(単独歩行可能な視覚障害者の普及)
(函館視覚障害者福祉協議会)
理由…視覚障害者が単独で外出をす

る際、安全・安心の観点から様々な阻害要因が存在します。以下に3つの手段ごとに、解決すべき課題を明確化し、具体的解決策について関係各方面への働きかけを行うよう要望いたします。

(1) 白杖歩行訓練の推進
(2) 盲導犬歩行の推進
(3) 同行援護制度の充実

今年度の福祉大会に事前に提出された議題は、いずれも視覚障害者の外出に際しては報道された視覚障害者の外出時に起きた悲しい事故に心を痛めている皆さんの切実な気持ちや関心の高さが伺われました。

3件の議題を様々な角度から分析し熱心な検討が行われ、大きな実りのある福祉大会となりました。

ご参加、ご協力をいただきました皆様、誠にありがとうございました。

ブルーファミリアのコンサートを始めたきっかけは、当協会の会員でもある目黒達也バンドリーダーの、「いつもお世話になっている周りの人たちに恩返しをしたい」との思いからでした。その思いに賛同したメンバーが現在では全国各地から集まり、さらに海を越え台湾との交流ができるまでになりました。応援してくださるお客様も道内だけでなく、全国から足を運んでくださり心から感謝しております。来てくださったたくさんの皆様から、「素晴らしいコンサート」「感動をありがとう」「どのあたったかい言葉がいたって嬉しく思います。来年は10月8日(日)に開催予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

このたびのコンサートの開催に際しまして関わってくださいましたすべての皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。